

# Annual Report

Yokohama Soei University

Education and research Center

横浜創英大学

# 教育研究センター 年報2024



学校法人 堀井学園  
横浜創英大学



# 教育研究センター年報

## 目 次

はじめに .....	1
------------	---

### I 2024(令和6)年度における教員の教育・研究業績及び社会活動等の業績

01 学長 こども教育学部長 教授	北村 公一	.....	2
02 看護学部長兼研究科長 教授	横山 恵子	.....	3
03 看護学部 教授(大学院兼務)	佐野 望	.....	6
04 看護学部 教授(大学院兼務)	鈴木 恵	.....	8
05 看護学部 教授(大学院兼務)	山口 智美	.....	10
06 看護学部 教授(大学院兼務)	山本 洋美	.....	13
07 看護学部 准教授(大学院兼務)	染谷奈々子	.....	16
08 看護学部 准教授(大学院兼務)	西出 久美	.....	18
09 看護学部 准教授(大学院兼務)	藤田 文子	.....	20
10 看護学部 准教授(大学院兼務)	本多 和子	.....	22
11 看護学部 准教授(大学院兼務)	山下 麻実	.....	24
12 看護学部 講師	藍木 桂子	.....	26
13 看護学部 講師	小川 明佳	.....	28
14 看護学部 講師	小川 雅代	.....	30
15 看護学部 講師	久保木 紀子	.....	32
16 看護学部 講師	齊藤 美恵	.....	34
17 看護学部 講師	杉山 洋介	.....	35
18 看護学部 講師	藤原 瑞穂	.....	37
19 看護学部 助教	精野 ゆう子	.....	39
20 看護学部 助教	荒武 喜子	.....	40
21 看護学部 助教	岩谷 正美	.....	42
22 看護学部 助教	上村 いずみ	.....	44
23 看護学部 助教	大久保 昭宏	.....	46
24 看護学部 助教	奥山 聡子	.....	47
25 看護学部 助教	中田 千恵子	.....	49
26 看護学部 助教	那須 実千代	.....	51
27 看護学部 助教	村上 亜紀	.....	53
28 こども教育学部 教授	小川 史	.....	55

29	こども教育学部 教授	鈴木 明子	.....	57
30	こども教育学部 教授	武井 博美	.....	59
31	こども教育学部 准教授	榑澤 令子	.....	61
32	こども教育学部 准教授	田中 君枝	.....	63
33	こども教育学部 准教授	根本 徹	.....	65
34	こども教育学部 准教授	平野 友康	.....	67
35	こども教育学部 准教授	持田 訓子	.....	69
36	こども教育学部 講師	江島 絵理子	.....	71
37	こども教育学部 講師	流石 良子	.....	73
38	こども教育学部 講師	若生 啓	.....	75
39	こども教育学部 助教	相賀 頌子	.....	77
40	こども教育学部 助教	濱田 唯	.....	79
41	こども教育学部 助教	椋田 美穂	.....	81
II 2024(令和6)年度の本学の地域貢献活動				..... 83
III 横浜創英大学教育研究センター規程				..... 85

## はじめに

横浜創英大学長  
北村 公一

大学を取り巻く外部環境は年々厳しさを増している。その要因の一つは、18歳人口が年々減少していることである。18歳人口は平成4（1992）年の205万人を境に減少に転じ、この10年ほどは120万人程度と横ばいが続いていたが、再び減少傾向となり、令和10（2028）年には107万人となり、令和20年（2038）には91万人になることが推計されている。

我が国、そして世界のこれからの考えるに、グローバルな社会を生き抜く資質能力を持った人材の育成が求められているのではないだろうか。

このような状況の中で、本学の建学の理念である「考えて行動のできる人」の育成を行い、地域にとって魅力ある大学づくりを行うことが重要であると考え、教職員一同、日々教育活動に取り組んでいる。

本学は、平成24（2012）年の開学以来、学校教育法に示されているように、教育研究を行い、地域貢献により社会の発展に寄与するように努力をしてきた。

具体的には、神奈川県・横浜市等の自治体等と連携し、その地域の保健・看護及び幼児教育・保育等の分野に貢献し、地域から評価される地域密着型の大学を目指し努力している。

大学教育は、教員の教育や研究によって得られた成果、すなわち、持ちうる知的資源を地域社会に還元することにより、社会の発展に貢献しなければならないと考えている。例えば、本学では、地域の高齢者・子育て支援事業などに参画することにより、地域社会の保健及び保育等の分野での生活の質的向上に寄与することを目的とし、地域の自治会や幼稚園、保育園などと交流して、それぞれが抱える様々な課題の解決を支援している。

本学では毎年この年報を刊行し、全教員の教育、研究、社会貢献などの実績を記載し、大学としての知的資源の内容を開示することになっている。巻末には、今年度の地域貢献の事例を記載している。今後の地域での活動を考える参考にしていただけると幸いである。

令和7年5月

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	学長 こども教育学部長 教授 北村公一
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	① 大学で学ぶとは（1単位）【オムニバス 2コマ】 ② リメディアル教育（3コマ）
教育上の能力に関する事項	グループワークにおけるファシリテーションスキルの活用
研究実績	
研究課題	大学生のコミュニケーションスキルの育成に向けた取組
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本教育工学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 運営会議 議長
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	看護学研究科長 看護学部長 教授 横山恵子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<p><b>【学部】</b></p> <p>① 精神看護学概論（1単位）</p> <p>② 精神看護学方法論Ⅰ（2単位）</p> <p>③ 精神看護学方法論Ⅱ（2単位）</p> <p>④ 精神看護学実習（2単位）</p> <p>⑤ 大学で学ぶとは（2単位オムニバス1コマ）</p> <p>⑥ 知的探求入門（2単位）</p> <p>⑦ 看護倫理・法（1単位）</p> <p>⑧ 研究ゼミナール（2単位）</p> <p><b>【大学院】</b></p> <p>① 看護倫理学（2単位オムニバス3コマ）</p> <p>② 看護専門職論（2単位オムニバス4コマ）</p> <p>③ 地域・精神看護学特論Ⅰ（2単位）</p> <p>④ 地域・精神看護学特論Ⅱ（2単位）</p> <p>⑤ 地域精神看護学実習（2単位）</p> <p>⑥ 特別研究Ⅰ（2単位）</p> <p>⑦ 特別研究Ⅱ（8単位）</p>
教育上の能力に関する事項	<p>① 精神看護学概論における、視聴覚教材の活用</p> <p>② 精神看護学方法論Ⅰでの、当事者のゲストスピーカーの活用</p> <p>③ 精神看護学実習における、病院と地域福祉施設の実習を組み合わせ、入院から地域生活に繋がる学びの教授</p>
研究実績	
研究課題	<p>① 精神障害者家族支援</p> <p>② 精神障害者の恋愛・結婚に関する研究</p> <p>③ 精神障害者のピアアドボケイトに関する研究</p>
原著論文	<p>・ 蔭山正子・高橋幸子・市橋香代・日下桃子・野間慎太郎・余郷壮平・村山美保子・根本俊史・西谷美理・横山恵子：精神疾患のある人の性と生殖に関する実態，日本看護科学学会，44，763-776，2024.</p> <p>・ 濱田唯・陰山正子・横山恵子：精神医療利用者を対象とした日本語版 PSAS（セルフアドボカシー尺度）の信頼性と妥当性の検討，日本公衆衛生雑誌，advpub（0），1-7，2024.</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀聡子・横山恵子・森田 牧子：精神疾患のある母親をもつ子どもたちの困難を乗り越える経験，日本精神保健看護学会，33 (1)，138 - 146，2024.</li> <li>・Effects of an online program about intimate and romantic relationships for people with mental disorders (AIRIKI)：a study protocol for a randomized controlled trial，Momoko Kusaka, Masako Kageyama, Keiko Yokoyama, Kayo Ichihashi, Ryota Hashimoto, Kazutaka Nishio, Phyllis Solomon, BMC psychiatry 24(1) 731-731 2024.</li> </ul>
総説・解説	なし
著書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横山恵子、仲田海人、木村諭志他：今日の向こうは きょうだいが語るきょうだいの精神疾患と私の人生，ペンコム，2024.</li> </ul>
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年度基盤研究 (B) 精神障がい者の予防的・家族包括的育児支援プログラムの開発（研究分担者）</li> <li>・2021 年度基盤研究 (C) 精神疾患を有する者の家族丸ごと支援を目指した支援者連携のための基盤整備（研究分担者）</li> <li>・2021 年度基盤研究 (C) ICT を活用した精神障害者の家族心理教育プログラムの開発と有用性の検討（研究分担者）</li> <li>・2023 年度基盤研究 (C) 精神疾患の親やきょうだいをもつ「若者・ヤングケアラー」へのピアサポート構築（研究代表者）</li> <li>・2024 年度基盤研究 (B) 精神障がい者の性と生殖に関する支援プログラムの開発（研究分担者）</li> </ul>
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護科学学会，日本公衆衛生学会，日本精神保健看護学会，日本地域看護学会，日本看護研究学会，日本精神障害者リハビリテーション学会，埼玉県立大学保健医療福祉科学学会，等会員</li> <li>・埼玉県三芳町 介護給付等の支給に関する審査会委員</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市看護協会 精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修講師</li> <li>・日本精神科看護協会（東京都支部）「家族支援」研修講演</li> <li>・横浜市精連オンライン研修「家族支援研修」講演</li> <li>・学研メディカルサポートオンデマンド教材作成：院内全体研修コース 全体研修「医療従事者が知っておきたいヤングケアラー支援」講師</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉未来大学 ライフデザイン科「あたたかい聴き方・やさしい話し方」読み聞かせボランティア養成講座「傾聴の基本的な知識と技術」講義</li> <li>・埼玉県精神障害者家族会連合会 令和6年度ピアカウンセリング事業電話相談「電話相談を広げるためその魅力を考える」講演</li> <li>・大阪府精神障害者家族会連合会 令和6年度精神保健福祉講座、「家族だからできるピアサポート相談」講演</li> <li>・令和6年度ヤングケアラー支援研修「ケアラーに優しいヨコハマにしよう！ ご存知ですか？ヤングケアラーのこと」講演</li> <li>・ヨコラボ 2024 市民協働シンポジウム「ヤングケアラーに寄り添う社会へ～ともに取り組む社会課題～」モデレーター</li> <li>・全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）家族による家族学習会セミナー「きょうだいの多様性とリカバリー」講演</li> <li>・福岡県精神保健福祉センター 令和6年度精神保健福祉家族・支援者研修会「家族会の今とこれから」講演</li> <li>・2024年度キリン福祉財団助成事業「子ども・若者の育ちと自立を地域で支える人材育成セミナー」「講演</li> <li>・令和6年度海老名市ヤングケアラー支援対応連絡会 関係機関向けヤングケアラー研修会 講演</li> <li>・令和6年度さいたま市障害者社会参加推進事業 第2回精神家族教室「精神障がい当事者を家族だけで抱え込まないために」講演</li> <li>・地域精神保健福祉機構（コンボ）リカバリー全国フォーラム分科会「きょうだいの多様性とリカバリー」講演</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学部長</li> <li>・看護学研究科長</li> <li>・運営会議委員</li> <li>・学生募集委員会委員</li> <li>・自己点検・評価委員会委員</li> <li>・ハラスメント防止委員会委員</li> <li>・防災対策委員会委員</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 教授／大学院 准教授 佐野望
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<p>【学部】</p> <p>① 老年看護学概論 2単位（15コマ）</p> <p>② 老年看護学方法論Ⅰ 1単位（9コマ）</p> <p>③ 老年看護学方法論Ⅱ 1単位（15コマ）</p> <p>④ 老年看護学実習Ⅰ 1単位</p> <p>⑤ 老年看護学実習Ⅱ 2単位</p> <p>⑥ リハビリテーション看護論 1単位</p> <p>⑦ 知的探求入門 2単位</p> <p>⑧ 研究ゼミナール 2単位</p> <p>【大学院】</p> <p>① 特別研究Ⅱ 8単位</p>
教育上の能力に関する事項	看護学部 DP の達成を評価するための能力の可視化-PROG テストの内容を元にしたリテラシー能力、コンピテンシー能力と DP を整合させた卒業時の能力の抽出-
研究実績	
研究課題	高齢者の生きがい
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	学生の理解を促進する看護過程の教授法とは - 領域横断による教育設計の検討 - 日本看護学教育学会 第34回学術集会
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	日本看護協会、日本老年看護学会、日本看護学教育学会、日本看護学研究学会、日本看護科学学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学部実習委員会 副委員長</li> <li>・看護学部教務分科会 委員長</li> <li>・教務委員会 副委員長</li> </ul>

	・薬草サークル顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 教授／大学院 准教授 鈴木 恵
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<p>【学部】</p> <p>① 看護学原論（1単位）</p> <p>② 看護援助技術論Ⅱ（2単位）</p> <p>③ 看護過程展開論Ⅱ（1単位）</p> <p>④ 感染看護学（1単位）</p> <p>⑤ 基礎看護学実習Ⅰ（1単位）</p> <p>⑥ 基礎看護学実習Ⅱ（2単位）</p> <p>⑦ 研究ゼミナール（2単位）</p> <p>【大学院】</p> <p>① ケア技術学特論1（オムニバス2コマ）</p> <p>② ケア技術学特論2（オムニバス2コマ）</p> <p>③ ケア技術学特論3（オムニバス2コマ）</p> <p>④ 看護理論（オムニバス4コマ）</p> <p>⑤ 特別研究Ⅰ（2単位）</p> <p>⑥ 特別研究Ⅱ（8単位）</p>
教育上の能力に関する事項	<p>① 看護学原論における視聴覚教材の利用、事例作成によるアクティブラーニングの導入</p> <p>② 看護学原論における国際看護分野でのゲストスピーカーの活用</p> <p>③ 感染看護学における看護協会の感染管理認定看護師と連携した演習の実施</p> <p>④ 看護過程展開論における領域間連携の実践と提案</p>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非がん患者と家族への支援・緩和ケア</li> <li>・看護師のキャリア支援</li> <li>・看護留学に関する研究</li> </ul>
原著論文	鈴木 恵, 水戸優子, 金壽子:「誤嚥を起こしやすい患者を在宅で看取った家族の心情と患者とその関わり」日本健康医学会雑誌 33 巻 1 号 2024 年 4 月
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	株式会社 SMS 「ナース専科就職ナビ看護師適職検査」監修 2024 <a href="https://recruit.nurse-senka.com/content/interest">https://recruit.nurse-senka.com/content/interest</a>
学会発表 （含国際会議）	学生の理解を促進する看護過程の教授法とは-領域横断による教育設計の検討- 2024 年 8 月

	<p>日本看護学教育学会 第34回学術集会 交流セッション</p> <p>Seirei International Research Conference 2024</p> <p>Comprehensive point for home care nurses who provide grief care in families who bereaved their children: A descriptive research of difficulty in home care nurses</p> <p>Eri Yamaoka、Megumi Suzuki、Chiemi Ono</p>
外部資金取得状況	2022年度 日本死の臨床研究会 研究助成取得 子どもを亡くした家族へのグリーフケアにおける 訪問看護師の困難 (研究分担者)
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本看護技術学会、日本看護協会等 会員</li> <li>・ 日本ホリスティックナーシング研究会 理事、認定制度委員</li> <li>・ JHNA 研究会誌 査読委員</li> <li>・ 一般社団法人日本国際看護学会 第9回日本国際看護学会学術集会準備・運営委員</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 教員・教育担当者養成課程看護研究計画演習指導 講師</li> <li>・ 2024年度 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 教員・教育担当者養成課程看護コース看護研究計画発表会 講評</li> <li>・ 日本看護学教育学会 第34回学術集会 交流セッション「学生の理解を促進する看護過程の教授法とは-領域横断による教育設計の検討-」2024年</li> <li>・ JHNA 主催 ホリスティックナース養成講座「コーチング」講師</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年アドバイザー長 (2年生担当)</li> <li>・ 実習委員会委員長</li> <li>・ 教務分科会委員</li> <li>・ 看護学研究科委員</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 教授／大学院 教授 山口 智美
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<p>【学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域・在宅看護論(2単位)</li> <li>② 保健医療福祉行政論Ⅰ(2単位：オムニバス6コマ)</li> <li>③ 地域包括ケア実習(1単位)</li> <li>④ 疫学(2単位：オムニバス7コマ)</li> <li>⑤ 公衆衛生看護学概論(2単位：オムニバス13コマ)</li> <li>⑥ 健康生活支援論Ⅰ(2単位：オムニバス10コマ)</li> <li>⑦ 健康生活支援論Ⅱ(1単位：オムニバス7コマ)</li> <li>⑧ 公衆衛生看護活動論(2単位)</li> <li>⑨ 発達心理学(1単位：オムニバス2コマ)</li> <li>⑩ 多職種連携論(1単位：オムニバス6コマ)</li> <li>⑪ 在宅看護実習(2単位)</li> <li>⑫ 公衆衛生看護学実習Ⅰ(1単位)</li> <li>⑬ 公衆衛生看護学実習Ⅱ(4単位)</li> <li>⑭ 研究ゼミナール(2単位)</li> <li>⑮ 公衆衛生看護管理論(1単位：オムニバス2コマ)</li> </ul> <p>【大学院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 特別研究Ⅱ(2単位)</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<p>【学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域・在宅看護論における知識確認テストの作成、地区踏査課題の作成、学生参加型授業方法の工夫</li> <li>② 保健医療福祉行政論Ⅰ(1年生)における知識確認テストの作成</li> <li>③ 地域包括ケア実習要項・記録用紙の作成、効果的実習のための実習オリエンテーション、まとめの会の実施</li> <li>④ 疫学における演習問題の作成</li> <li>⑤ 公衆衛生看護学概論における課題の作成(地区踏査課題・社会環境と健康問題の課題)、</li> <li>⑥ 公衆衛生看護学概論のグループワークの実施</li> <li>⑦ 健康生活支援論Ⅰにおける視覚教材・写真教材の工夫、演習事例、の作成</li> <li>⑧ 公衆衛生看護活動論における保健指導演習・家庭訪問演習の事例・健康教育演習課題、実施記録用紙の作成</li> <li>⑨ 健康生活支援論Ⅱにおける地域診断事例の作成、地域診断用紙</li> </ul>

	<p>の工夫</p> <p>⑩ 多職種連携論の課題事例の作成</p> <p>⑪ 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱにおける実習要項・実習記録用紙の作成</p> <p>⑫ 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱにおける実習リエンテーション資料の作成</p> <p>⑬ 公衆衛生看護管理論の演習課題の作成</p> <p>【大学院】</p> <p>① 特別研究Ⅱにおける指導の工夫</p>
研究実績	
研究課題	<p>1. 脳卒中患者の就労及び職場定着支援</p> <p>2. 地域包括ケアシステムと多機関・多職種の連携・協働</p> <p>3. 3. 保健師活動のあり方</p>
原著論文	なし
総説・解説	1. 「教育支援システム（保健師版）」第110回国試教材（Web版）：エスエイティーター株式会社
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	脳卒中患者の就労支援における地域ネットワーク構築における課題，第26回大会日本リハビリテーション連携科学学会，東京医療学院大学，2025年3月15日
外部資金取得状況	科学研究費「基盤研究C（令和2～6年度）：脳卒中患者の就労支援等における患者、企業、地域関係機関・職種のネットワークの構築」研究代表者
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<p>① 日本看護研究学会</p> <p>② 日本家族看護学会</p> <p>③ 日本公衆衛生学会</p> <p>④ 日本公衆衛生看護学会</p> <p>⑤ 日本医療マネジメント学会</p> <p>⑥ 日本産業衛生学会</p> <p>⑦ 日本職業・災害医学会</p> <p>⑧ 日本職業リハビリテーション学会</p> <p>⑨ 日本医療情報学会</p> <p>⑩ 日本看護科学学会</p> <p>⑪ 日本リハビリテーション連携科学学会</p> <p>⑫ 日本ヒューマンケアネットワーク学会の会員</p>

公開講座などでの 学外での講演、講 義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護学部教務分科会 委員</li> <li>② 学生募集委員会 委員</li> <li>③ 研究倫理委員会 委員長</li> <li>④ 研究倫理審査会 委員</li> <li>⑤ 1年生クラスアドバイザーリーダー</li> <li>⑥ 保健師国家試験支援対策</li> <li>⑦ 看護研究科委員会 委員</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 教授／大学院 准教授 山本洋美
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<p>【学部】</p> <p>① 母性看護学概論 ② 母性看護学方法論Ⅰ ③ 母性看護学方法論Ⅱ ④ 母性看護学実習 ⑤ 研究ゼミナール ⑥ 看護研究</p> <p>【大学院】</p> <p>① 看護教育学 ② 特別研究Ⅰ・Ⅱ</p>
教育上の能力に関する事項	<p>① 母性看護学概論、母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習、研究ゼミナールの実施と教員サポート</p> <p>② 母性看護学概論・母性看護学方法論Ⅰにおける視覚教材、レポート課題等の工夫と教員指導</p> <p>③ 母性看護学概論・母性看護学方法論Ⅰにおける Google Classroom を用いた授業・テスト・課題等の実施</p> <p>④ 母性看護学方法論Ⅱにおける事前課題・事例・演習方法等の演習課題への指導と演習実施</p> <p>⑤ 母性看護学実習における子育て支援拠点、助産院、病院の施設開拓と単位取得が難しい学生への面談実施と教員指導</p> <p>⑥ 母性看護学実習における実習要項・実習記録用紙、実習リエゾン資料における教員サポート</p> <p>⑦ 研究ゼミナールにおける教員への研究指導と研究発表会の実施</p> <p>⑧ 看護教育学における視覚教材、レポート課題等の工夫と学生参加型の授業の工夫</p> <p>⑨ 看護学研究科1名の主指導</p> <p>⑩ 看護学研究科1名の副指導</p> <p>⑪ 研究科修士論文審査における主査1論文の審査を担当</p> <p>⑫ 教務委員会におけるディプロマポリシー、看護学部履修科目、PROGテストの総合的な検討と本学看護学部学生が修得するリテラシーとコンピテンシー（案）の抽出と作成</p> <p>⑬ 教務委員会における外部講師交流会の運営と司会</p> <p>⑭ 教務分科会における「先輩の話を聞こう」の運営</p> <p>⑮ 教務分科会における「卒業アンケート」の運営</p>

	<p>⑩ 国家試験対策委員会委員長として、会議の運営・企画・実施と合格が難しい学生への面談と対策の実施</p> <p>⑪ 看護の日の総監督として運営と準備</p> <p>⑫ アドバイザーの一員として保護者会の運営・企画・実施と学生把握や学生面談を実施</p> <p>⑬ 母性看護学領域・小児看護学領域合同会議「母性・小児演習室における身だしなみに関するガイドラインの検討」</p>
研究実績	
研究課題	不妊治療中のカップル支援 不妊治療中カップルのメンタルケア
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書 若手研究「長期不妊治療中カップルのパートナーシップを向上させるための支援モデルの開発」
学会発表 （含国際会議）	<p>① 山本 洋美, 久我 弘典, 伊藤 正哉, 三田村 康衣, 梅本 育恵, 井上 真里, 日吉 史一, 駒沢 あさみ, 中野 智彰, 北川 慎也, 草野聡, 竹本奈緒子. 不妊に悩むカップルのメンタルヘルスもふまえた支援の実態調査, 第 69 回日本生殖医学学会, 2024</p> <p>② 山本洋美, 牧野みゆき, 梅本育恵, 久我弘典. 不妊に悩むカップルの支援の現状と課題, 第 69 回日本生殖医学学会, 2024</p> <p>③ 石井愛美, 山本洋美, 上村いずみ, 藍木桂子. 不妊治療と仕事に関する文献検討第 69 回日本生殖医学学会, 2024</p> <p>④ 梅本育恵, 牧野みゆき, 駒沢あさみ, 三田村康衣, 上原陽子, 上原陽子, 木村健太郎, 山本洋美, 寺島瞳. 限られた時間で効率的に認知行動療法を行うには, 第 24 回日本認知療法・認知行動療法学会</p> <p>⑤ 久我弘典, 梅本育恵, 三田村康衣, 駒澤あさみ, 上原陽子, 山本洋美. 動画を用いて限られた時間でも実施できる効率型認知行動療法, 第 24 回日本認知療法・認知行動療法学会, 2024</p> <p>⑥ 久我弘典, 梅本育恵, 徳山明弘, 奥村貴子, 三田村康衣, 駒澤あさみ, 上原陽子, 山本洋美, 牧野みゆき, 伊藤愛. リカバリーを目指す認知療法 (CT-R: Recovery-oriented Cognitive Therapy), 第 24 回日本認知療法・認知行動療法学会, 2024</p> <p>⑦ Ikue Umemoto, Yasue Mitamura, Miyuki Makino, Asami</p>

	<p>Komazawa, Yoko Uehara, Hiromi Yamamoto, Hitomi Terashima, Kentarou Kimura, Takako Okumura, Akihiro Tokuyama, Hironori Kuga. Feasibility Study of Streamlined Cognitive Behavioral Therapy (SCBT) for Depression Delivered in a Short period by video-assist in Japan, 23rd World Psychiatric Association World Congress of Psychiatry, 2024</p> <p>⑧ 三田村康衣、久我弘典、井上真里、梅本育恵、伊藤愛、片柳章子、山本洋美、千葉裕之、浜村俊傑、大野裕、牧野みゆき、伊藤愛。リカバリーを目指す認知療法に関する研修とその効果の予備的検討，第69回日本ポジティブサイコロジー学会，2024</p>
外部資金取得状況	
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	科学研究費「基盤研究C（令和4～7年度）：不妊治療中カップルのパートナーシップを向上するための支援教育実践プログラムの開発」研究代表者
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<p>【学会】</p> <p>日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本助産学会、日本母性看護学学会、日本母性衛生学会、日本生殖医学学会</p> <p>【社会活動】</p> <p>① 国立精神・神経医療研究センター研究員</p> <p>② 神奈川県こころのサポーター事業 講師</p>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<p>① 教務委員 委員</p> <p>② 教務分科会 委員</p> <p>③ 国家試験対策委員会 委員長</p>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 准教授／大学院 准教授 染谷奈々子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<p>【学部】</p> <p>① 小児看護学概論（2単位 科目責任者）</p> <p>② 小児看護学方法論Ⅰ（1単位 4/15コマ）</p> <p>③ 小児看護学方法論Ⅱ（1単位 4/15コマ）</p> <p>④ 小児看護学実習Ⅰ（1単位 科目責任者）</p> <p>⑤ 小児看護学実習Ⅱ（1単位 科目責任者）</p> <p>⑥ 看護研究（2単位）</p> <p>⑦ 研究ゼミナール（2単位 4名担当）</p> <p>【大学院】</p> <p>① 特別研究Ⅱ（学生1名 副指導）</p>
教育上の能力に関する事項	<p>【学部】</p> <p>① 小児看護学概論 小児看護学方法論Ⅰ 科目横断型アクティブラーニングの工夫</p> <p>② 小児看護学実習Ⅱ 令和8年度実習評価ルーブリックの作成</p> <p>③ 母子会議を通して母性・小児演習室における身だしなみに関するガイドラインの検討</p> <p>③ 教務分科会 令和7年度 特修プログラム 解剖学演習（教員用手引き）作成</p> <p>④ 看護学部 DP の達成を評価するための能力の可視化-PROG テストの内容を元にしたリテラシー能力、コンピテンシー能力と DP を整合させた卒業時の能力の抽出-</p> <p>【大学院】</p> <p>① 令和6年度学位論文審査委員会委員長 1論文の主査 令和6年度修士論文公開発表会座長</p>
研究実績	
研究課題	<p>研究課題1 医療的ケアを必要とする子どもと家族への高度実践看護ケアガイドラインの開発</p> <p>研究課題2 小児看護専門看護師の実践に関する研究</p> <p>研究課題3 こどもの看護技術と技に関する研究</p>
原著論文	なし
総説・解説	平田美佳・染谷奈々子（2025）：いい顔生まれる こどもまんなか小児看護技術 日常的にこどもの最善の利益を守る倫理的実践知，小児看護，48（4），394 - 400.
著書	① 染谷奈々子・平田美佳（2024）：成長発達するこども・家族とこ

	<p>どもまんなか小児看護技術, 染谷奈々子・平田美佳編, いい顔生まれるこどもまんなか小児看護技術. 30-33, へるす出版, 東京.</p> <p>② 染谷奈々子 (2024) : 安全をまもる, 生活リズムを整える, 染谷奈々子・平田美佳編, いい顔生まれるこどもまんなか小児看護技術. 34-35, 38-39, へるす出版, 東京.</p> <p>③ 鶴巻香奈子・染谷奈々子・平田美佳 (2024) : 吸引, 染谷奈々子・平田美佳編, いい顔生まれるこどもまんなか小児看護技術. 135-141, 38-39, へるす出版, 東京.</p> <p>染谷奈々子 (2024) : 小児看護概論, 小児看護の基礎, 新看護学 14 母子看護 (第 13 版), 215-221, 222-227, 医学書院, 東京.</p>
その他 (新聞、雑誌の記事など)	メディカ出版基礎教育部門 国試対策デジタル編集課「第 114 回看護師国家試験対策テスト第 3 回」小児看護学の問題・解説の監修
学会発表 (含国際会議)	なし
外部資金取得状況	医療的ケアを必要とする子どもと家族への高度実践看護ケアガイドラインの開発 (平成 30 年度科学研究助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) 2018-2024)
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<p>日本小児看護学会会員</p> <p>日本小児看護学会 評議員</p> <p>日本小児看護学会 学会誌投稿論文専任査読者</p> <p>日本看護科学学会会員</p> <p>日本専門看護師協議会会員</p> <p>高知女子大学看護学会会員</p>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<p>① 教務委員会 委員</p> <p>② 看護学部 教務分科会 委員</p> <p>③ 大学院 研究科委員会 委員</p> <p>④ 大学院 教務分科会 委員</p> <p>⑤ 2 年生クラスアドバイザー</p> <p>⑥ 看護学部「看護の日」担当</p>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 准教授／大学院 准教授 西出久美
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成人看護学概論 1 単位（科目責任 7/8 コマ）</li> <li>② 成人看護学方法論Ⅰ 2 単位（3/15 コマ）</li> <li>③ 成人看護学方法論Ⅱ 2 単位（4/15 コマ）</li> <li>④ 成人看護学方法論Ⅲ 1 単位（科目責任 15/15 コマ）</li> <li>⑤ 成人看護学実習：慢性期 3 単位（科目責任 3 週間×4 クール）</li> <li>⑥ 成人看護学実習：急性期 3 単位（科目責任 3 週間×4 クール）</li> <li>⑦ がん看護 1 単位（科目責任 7/8 コマ）</li> <li>⑧ 家族看護論 1 単位（科目責任 8/8 コマ）</li> <li>⑨ 救急・災害看護学 1 単位（4/8 コマ）</li> <li>⑩ 研究ゼミナール 3 名担当</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成人看護学実習・急性期、慢性期における OSCE の運営</li> <li>② 2024 年度 FD 研修会 授業改善を考える「成人看護学方法論Ⅰにおけるイメージ化を推進するアクティブラーニング実施報告」</li> <li>③ OSCE 領域横断プロジェクトチームにおける OSCE の到達度評価と教育法の検討（学内特別研究）</li> <li>④ 札幌市立大学視察</li> </ul>
研究実績	
研究課題	看護師の死生観の形成、進行がん患者の緩和ケア 成人看護学授業の教授方法
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	横浜創英大学第 12 巻 2025 研究論文集録集「成人看護学急性期実習の実習前準備教育におけるシミュレーション教育の学生の学び－VR 教材の学習効果の検討－」
学会発表 （含国際会議）	・日本看護学教育学会第 34 回学術集会交流セッション「学生の理解を促進する看護過程の教授法とは－領域横断による教育設計の検討－、2024 年 8 月
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 神奈川県看護師等養成機関連絡協議会（教育研修部会担当）</li> <li>② 日本看護研究学会学会員</li> <li>③ 日本看護教育学会学会員</li> </ul>

	④ 日本がん看護学会学会員 ⑤ 日本緩和医療学会学会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	・神奈川県看護師等養成機関連絡協議会中堅教員研修企画・運営 ・大西学園高等学校看護学模擬授業
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 教務分科会 ② 研究倫理審査会 ③ 研究倫理委員会
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 准教授／大学院 准教授 藤田文子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 成人看護方法論Ⅱ（オムニバス8コマ） ② 成人看護学・慢性看護学実習（3単位）
教育上の能力に関する事項	① 成人看護学方法論Ⅱにおける評価基準の作成 ② 授業後に毎回確認テスト実施し、学習内容の理解度、知識の定着を評価 ③ 成人看護学実習・慢性期におけるOSCEの事例検討と実施 ④ 学内実習における「模擬患者」のドレーンからの排液、尿などリアルに作成し、臨床場面をリアルに再現するなど教材の工夫
研究実績	
研究課題	なし
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本看護科学学会会員 ② 日本慢性看護学会会員 ③ 日本人間関係学会会員 ④ 日本看護医療学会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 看護学部実習委員会 委員 ② 国家試験対策委員会 委員 ③ 2年生アドバイザー
表彰・顕彰	

賞の名称	なし
------	----

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 准教授／大学院 准教授 本多和子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 対象論 2単位 ② 知的探求入門 2単位 ③ ケア場面展開論 1単位 ④ 看護過程展開論Ⅱ 1単位 ⑤ 看護援助技術論Ⅰ 1単位 ⑥ 看護援助技術論Ⅱ 1単位 ⑦ 基礎看護学実習Ⅰ 1単位 ⑧ 基礎看護学実習Ⅱ 2単位 ⑨ 研究ゼミナール 2単位 ⑩ 特別研究Ⅱ 8単位
教育上の能力に関する事項	① 対象論における、看護コミュニケーション演習時の相互評価の方法について ② 基礎看護学科目におけるルーブリック評価の作成 ③ 知的探求入門における初学者教育の工夫 ④ ケア場面展開論における臨床判断に関する演習方法の工夫
研究実績	
研究課題	看護技術の触診手技の訓練を可能にする VR 訓練(ハンズオントレーニング)用のシミュレータの作成
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	横浜創英大学研究論集第12巻、Virtual Reality 空間で胸部の触診を可能にする力触覚提示システムを使用した VR 訓練シミュレータの一検討
学会発表 (含国際会議)	看護技術の触診手技の訓練を可能にする VR 訓練用のシミュレータの看護教育への活用に関わる評価、日本看護学教育学会第34回学術集会、2024. 8. 20
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本看護学教育学会会員 ② 日本看護管理学会会員 ③ 日本看護科学学会会員 ④ 日本応用心理学会会員 ⑤ 日本健康医学会会員

公開講座などでの 学外での講演、講 義、実習など	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 教員・教育担当者養成課程「看護研究計画演習」講師
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学生委員会</li> <li>② 学生募集委員会</li> <li>③ 図書・研究委員会</li> <li>④ 横浜創英大学研究論集編集会議 委員</li> <li>⑤ 1年生アドバイザー</li> <li>⑥ リラクゼーションサークル顧問</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部 看護学研究科
職名、氏名	学部 准教授／大学院 准教授 山下麻実
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<b>【学部】</b> ① 小児看護学概論 ② 小児看護学方法論Ⅰ(2単位) ③ 小児看護学方法論Ⅱ(2単位) ④ 小児看護学実習Ⅰ(1単位) ⑤ 小児看護学実習Ⅱ(1単位) ⑥ 統合実習(2単位) ⑦ 国際看護論(1単位) ⑧ 看護研究ゼミナール <b>【大学院】</b> ① 特別研究Ⅱ
教育上の能力に関する事項	① 小児看護学概論 小児看護学方法論Ⅰ 科目横断型アクティブラーニングの工夫 ② 小児看護学実習Ⅱ 令和7年度実習評価ルーブリックの作成 ③ 領域横断による看護過程の教育設計の検討 ④ 国際看護論における地域住民参加型による授業設計および運営 ⑤ 母子会議 母性・小児演習室における身だしなみに関するガイドラインの検討
研究実績	
研究課題	① 小児看護と保育の協働に関するアクションリサーチ ② 小児看護学教育に関する研究 ③ 看護の国際化に関する研究
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	① 「学生の理解を促進する看護過程の教授法とは-領域横断による教育設計の検討-第34回日本看護学教育学会 学術集会「交流セッション」2024.8.19-20 ② 「生後6か月未満のこどもを養育する母親の育児の負担感とエジンバラ産後うつ病質問票との関連」第44回日本看護科学学会 学術集会 2024.12.7-8
外部資金取得状況	文部科学省科学研究助成金 基盤研究(C)研究分担

	研究課題「保育・教育現場における e-learning を用いた医療的ケア教育プログラムの開発」
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小児保健協会 会員</li> <li>② 日本小児看護学会 会員</li> <li>③ 日本看護科学学会 会員</li> <li>④ 日本医学健康学会 会員</li> <li>⑤ 日本家族看護学会 会員</li> <li>⑥ 日本母性衛生学会 会員</li> <li>⑦ 日本赤十字社 幼児安全法指導員</li> <li>⑧ NPO 法人 100smile 理事</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 横浜市神奈川区保育士フォローアップ研修「こどもの事故予防と緊急時の対応」講師</li> <li>② スターチャイルド保育士研修「こどもに起きやすいけがと症状の対応」講師</li> <li>③ NPO 法人 100smile こんなときどうする？こどものホームケア</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保健管理センター委員会 副委員長</li> <li>② 看護師国家試験対策委員会 副委員長</li> <li>③ 看護学部 3 年次生アドバイザー</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 藍木桂子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<b>【看護学部】</b> ① 母性看護学方法論Ⅰ（1単位） ② 母性看護学方法論Ⅱ（1単位） ③ 母性看護学実習（2単位） ④ 研究ゼミナール（2単位） ⑤ 統合実習（2単位） <b>【こども教育学部】</b> ⑥ 母子保健演習（2単位）
教育上の能力に関する事項	なし
研究実績	
研究課題	① 母と子（娘・息子）の関係に関する研究 ② 看護師のトランジションに関する研究
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	「看護者と患者のより良い関係を」日本経済新聞 私見卓見 （12月24日掲載）
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本母性衛生学会 会員 ② 日本質的心理学会 会員 ③ 日本FP協会 会員 ④ 特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブパレット 青葉区地域子育て支援拠点ラフール・ラフールサテライト 月2回子育て相談
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	

学内委員会等の活動	① 実習委員会 委員 ② 研究倫理委員会 委員 利益相反管理委員会 委員 ③ 3年生アドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 小川明佳
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護過程展開論Ⅱ（2単位）</li> <li>② 看護援助技術論Ⅰ（2単位）（オムニバス7コマ）</li> <li>③ 看護援助技術論Ⅱ（2単位）</li> <li>④ 基礎看護学実習Ⅰ（1単位）</li> <li>⑤ 基礎看護学実習Ⅱ（2単位）</li> <li>⑥ 統合実習（2単位）</li> <li>⑦ 研究ゼミナール（2単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護過程展開論Ⅱにおける演習事例の作成</li> <li>② 看護過程展開論Ⅱにおける教育用電子カルテの導入</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護職のジョブ・ローテーションの関連要因に関する研究</li> <li>② 新人看護職員研修ガイドライン導入による離職抑止効果と離職についての看護部長の認識に関する研究</li> <li>③ 新人看護職への組織支援に関する研究</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Sayaka Ogawa: Research Trends on the Support Provided by University Nursing Faculty to New Graduate Nurses and the Support New Graduate Nurses Seek from University Nursing Faculty: A Literature Review. 15th International Nursing Conference &amp; 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2025.</li> <li>② 川端京子, 今井陽子, 廣川友香, 清水裕子, 岡本恵子, 小川明佳, 福井純子, 國江慶子, 池田真理: (インフォメーション・エクスチェンジ) キャリア・カルトグラフィを活用し今後のキャリアを見通す 第28回日本看護管理学会学術集会, 2024.</li> <li>③ 岡本恵子, 小川明佳, 清水裕子: 新人看護職員研修ガイドライン導入による離職抑止効果と現状調査 日本看護学教育学会第34回学術集会, 2024.</li> </ul>
外部資金取得状況	文部科学省科学研究費; 若手研究, 研究代表者 看護職のジョブ・ローテーションの関連要因に関する研究

社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本看護管理学会 会員 ② 日本看護科学学会 会員 ③ 日本看護学教育学会 会員 ④ 日本看護技術学会 会員 ⑤ 日本混合研究法学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	高校訪問「神奈川県立二宮高等学校」
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 国家試験対策委員会 ② ハラスメント相談員 ③ 1年生クラスアドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 小川雅代
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 精神看護学方法論Ⅰ（オムニバス5コマ） ② 精神看護学方法論Ⅱ（オムニバス1コマ） ③ 医療・環境入門（オムニバス7コマ） ④ 精神看護学実習（2単位） ⑤ 研究ゼミナール（2単位）
教育上の能力に関する事項	① 精神看護学方法論Ⅰ Wellness Recovery Action Plan: WRAP ファシリテーターとの共同による体験型のWRAP授業の実施 ② 精神看護学実習 実習に向けて学生のレディネスを高めることを目的として、実習病院での実習前合同オリエンテーションを導入した。 ③ 精神看護学方法論Ⅰ 精神科領域における倫理教育として地域で活動する実践家による授業を企画した。 ④ 医療・環境入門 受講者数に合わせ、各自の関心に基づいた課題取り組み型の授業を実施した。
研究実績	
研究課題	① 精神疾患を有する人のメタボリックシンドロームについてマインドフルネスを活用した看護師のレジリエンスを高めるプログラムの開発
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	① 日本看護学教育学会第34回学術集会交流セッション「学生の理解を促進する看護過程の教授法とは」
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本看護科学学会 会員 ② 日本精神保健看護学会 会員 ③ 日本看護管理学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	出前授業「薬物乱用教室」都立大森高校定時制
管理運営活動の実績	

学内委員会等の活動	① FD委員会 委員 ② 看護学部教務分科会 委員 ③ 学生サポートセンター 相談員 ④ 4年生アドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 久保木紀子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保健医療福祉行政論Ⅰ（2単位：オムニバス10コマ）</li> <li>② 健康生活支援論Ⅰ（2単位：オムニバス8コマ）</li> <li>③ 健康生活支援論Ⅱ（2単位：共同）</li> <li>④ 公衆衛生看護学概論（2単位：オムニバス5コマ）</li> <li>⑤ 公衆衛生看護活動論（2単位：共同）</li> <li>⑥ 公衆衛生看護管理論（1単位）</li> <li>⑦ 多職種連携論（1単位：オムニバス2コマ）</li> <li>⑧ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（1単位）</li> <li>⑨ 公衆衛生看護学実習Ⅱ（2単位）</li> <li>⑩ 地域包括ケア実習</li> <li>⑪ 在宅看護学実習</li> <li>⑫ ゼミナール（2単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公衆衛生看護活動論における演習事例の作成</li> <li>② 健康危機管理（災害）における授業内容の工夫（シミュレーション教材の作成）</li> <li>③ 全保教「公衆衛生看護学を教授する教員&lt;ラダーⅠ&gt;研修受講」</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮世帯における子どもとその養育者への保健師の支援についての研究</li> <li>・保健師の対人支援技術に関する研究</li> <li>・保健師教育に関する研究</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久保木紀子. 中山間地域に居住し農作業に従事する女性高齢者の身体活動量に関する研究. 横浜創英大学研究論集, 12:15-22.</li> <li>・久保木紀子, 眞砂照美, 山崎登志子, 川崎裕美, 恒松美輪子, 梯正之. 被災地の看護系大学の災害ボランティア活動における学生の学びのプロセス. 横浜創英大学研究論集, 12, 1-9.</li> <li>・久保木紀子, 川崎裕美, 恒松美輪子, 山崎登志子, 梯正之. (2025). 被保護者健康管理支援事業における子どもとその養育者への健康支援, 日本健康学会誌, 91. 2:37-52.</li> <li>・伊藤美穂, 内田朋子, 久保木紀子, 小林裕子, 横山正博, 人見英里, 田中マキ子. (2015). 中山間地域における地域住民の「互助」に関する文献検討. 山口県立大学学術情報, 8, 79-84.</li> </ul>

著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久保木紀子, 川崎裕美, 恒松美輪子(2024). 子ども期に生活困窮を経験した若者の語りからの地域サポート体制へのニーズ. 第 83 回日本公衆衛生学会総会.</li> <li>・久保木紀子, 恒松美輪子(2025). 学校における生活困窮世帯の児童・生徒への支援—保健師に求められる役割の検討—. 第 13 回日本公衆衛生看護学会学術集会.</li> </ul>
外部資金取得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（政策科学総合研究事業）分担研究：被保護世帯の子どもフェイスシートの開発（研究協力者）</li> <li>・学術変革領域研究（A）「貧困学の確立：分断を超えて」健康班メンバー</li> </ul>
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本公衆衛生看護学会会員、日本公衆衛生学会会員、プライマリケア連合学会、日本健康学会、日本小児保健協会会員</li> <li>・こどもサポートのファシリテーター活動</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久保木紀子(2024). 生活保護受給世帯の子どもとその養育者への健康生活支援の取り組み. 第 83 回日本公衆衛生学会総会シンポジウム 講演.</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 保健管理センター委員</li> <li>② 国家試験対策委員</li> <li>③ 学生サポートセンター委員</li> <li>④ 1 年生アドバイザー</li> <li>⑤ 若葉台団地連携協定事業担当</li> </ol>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 齊藤美恵
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	① 地域・在宅看護方法論Ⅰ（2単位 オムニバス5コマ） ② 在宅看護実習（2単位 4クール：5月13日から7月12日） ③ 地域包括ケア実習（1単位 4クール：9月22日から10月17日） ④ 研究ゼミナール（2単位、学生担当2名）
教育上の能力に関する事項	① ICT教育の工夫 ② Team based learning を取り入れたアクティブラーニング ③ 地域・在宅看護方法論Ⅰにおける視聴覚教材の活用
研究実績	
研究課題	① 在宅での看取りにおける看護師による支援 ② 訪問看護ステーションの安定的経営
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	なし
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	・教務委員会教養分科会委員 ・学生委員
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 杉山洋介
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護学援助論(2 単位)</li> <li>② 看護援助技術論 I (2 単位)</li> <li>③ 看護援助技術論 II (2 単位) 演習</li> <li>④ 看護過程展開論 I (2 単位) 演習</li> <li>⑤ 看護過程展開論 II (2 単位) 演習</li> <li>⑥ 基礎看護学実習 I (1 単位)</li> <li>⑦ 基礎看護学実習 II (2 単位)</li> <li>⑧ 看護情報学(1 単位)</li> <li>⑨ 災害看護学(1 単位) オムニバス</li> <li>⑩ 研究ゼミナール(2 単位)</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	看護教育における ICT 活用
研究実績	
研究課題	病院前救急医療、災害医療マネージメント、音環境と音が人に与える影響
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本看護学会会員</li> <li>② 日本災害医学会会員</li> <li>③ 日本救急看護学会会員</li> <li>④ 日本看護科学学会会員</li> <li>⑤ 日本看護学教育学会会員</li> <li>⑥ 日本看護研究学会会員</li> <li>⑦ 日本精神保健看護学会会員</li> <li>⑧ 日本音響学会会員</li> <li>⑨ 富士スピードウェイ大会組織競技委員</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ FIA 世界耐久選手権競技委員</li> <li>⑪ 湘南国際マラソン救命救護活動協議委員会</li> <li>⑫ 日本看護系大学協議会災害対策委員会</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本災害医学会セミナー講師</li> <li>② JPTEC協議会病院前外傷救護ガイドラインセミナー講師</li> <li>③ 日本熱傷学会病院前熱傷救護ガイドラインセミナー講師</li> <li>④ 日本災害医学会セミナー講師</li> <li>⑤ 社会福祉法人諸岳会總持寺保育園心肺蘇生講習会講師</li> <li>⑥ 社会福祉法人諸岳会總持寺本町通保育園心肺蘇生講習会・応急手当講習会講師</li> <li>⑦ あざみ野団地自治会心肺蘇生講習会講師</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 情報委員会副委員長</li> <li>② 看護学部教授会</li> <li>③ 看護学部国家試験対策委員会</li> <li>④ 救急サークル Think And Act for People (TAAP)顧問</li> <li>⑤ 3年生アドバイザー</li> <li>⑥ 防災訓練講師</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 藤原瑞穂
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校保健論（2単位）</li> <li>② 健康相談活動及び方法（2単位）</li> <li>③ 教育方法論（2単位）</li> <li>④ 教職概論（2単位）</li> <li>⑤ 養護概説（2単位）</li> <li>⑥ 発達心理学（2単位）</li> <li>⑦ 教職実践演習（2単位）</li> <li>⑧ 養護実習（5単位）</li> <li>⑨ 研究ゼミナール（2単位）</li> <li>⑩ 健康教育学（こども教育学部 2単位）</li> <li>⑪ 保育内容の指導方法Ⅰ（こども教育学部 2単位 オムニバス）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 養護教諭課程関連科目の教材開発</li> <li>② 卒後教育研修の企画・運営、プログラム開発</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教員の職業性ストレスに関する研究</li> <li>・養護教諭の職務・役割に関する研究</li> <li>・外国につながるのがある高校生への健康支援</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落合賀津子、藤原瑞穂：特別支援学校における知的障害児の性の健康問題に対する養護教諭の取り組みの現状と課題、北里大学教職課程センター教育研究(10)、2025年3月</li> </ul>
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤原瑞穂、吉田浩子、森田理仁：学校教員の心理的安全性に関連する要因の分析、第39回日本心身健康科学会学術集会、東京、2024年9月</li> </ul>
外部資金取得状況	<p>「外国につながるのがある高校生への養護教諭による健康支援」</p> <p>研究代表者；藤原 瑞穂</p> <p>研究期間（年度）；2024 - 2026</p> <p>研究種目；基盤研究(C)</p>
社会活動の実績	

学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県陸上競技協会理事</li> <li>・神奈川県立菅高等学校運営協議会委員</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教務分科会委員</li> <li>② 国家試験対策委員会委員</li> <li>③ クラスアドバイザー</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 精野ゆう子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 老年看護学方法論Ⅰ 1単位（講義4コマ） ② 老年看護学方法論Ⅱ 1単位 ③ 老年看護学実習Ⅰ 1単位 ④ ④老年看護学実習Ⅱ 2単位
教育上の能力に関する事項	老年看護学方法論Ⅰにおける教授方法の工夫
研究実績	
研究課題	なし
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	日本地域看護学会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 実習委員会 ② 1年生クラスアドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 荒武喜子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 看護援助技術論Ⅱ（1単位） ② 看護過程展開論Ⅰ（オムニバス4コマ） ③ 基礎看護学実習Ⅰ（1単位） ④ 基礎看護学実習Ⅱ（2単位） ⑤ 看護過程展開論Ⅱ（1単位） ⑥ 看護援助技術論Ⅰ（1単位） ⑦ 研究ゼミナール（2単位）
教育上の能力に関する事項	・視覚的アプローチを意識した教材作り ・臨床症状の機序を踏まえたフィジカルアセスメント力の育成 ・基礎看護技術の修得を促す演習プログラムの作成
研究実績	
研究課題	・歩行に関するフィジカルアセスメント能力の育成 ・貧困問題に関する大学生の認識
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	鈴木恵（企画代表者）（2024）. 学生の理解を促進する看護過程の教授法とはー領域横断による教育設計の検討ー. 日本看護学教育学会 第34回学術集, 交流セッション（オンデマンド配信）
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	・日本看護科学学会 会員 ・日本がん看護学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	・FD委員会 委員 ・国試対策委員会 委員 ・2年生アドバイザー
表彰・顕彰	

賞の名称	なし
------	----

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	講師 岩谷正美
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成人看護学方法論Ⅰ（2単位 演習2コマ）</li> <li>② 成人看護学方法論Ⅱ（2単位 オムニバス2コマ・演習2コマ）</li> <li>③ 成人看護学方法論Ⅲ（1単位）</li> <li>④ 看護教育学（1単位）</li> <li>⑤ 救急・災害看護学（1単位 オムニバス2コマ・演習2コマ）</li> <li>⑥ 研究ゼミナール（2単位）</li> <li>⑦ 成人看護学実習・急性期（3単位）</li> <li>⑧ 成人看護学実習・慢性期（3単位）</li> <li>⑨ 統合実習（2単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 担当授業にICTを活用。Google クラスルーム、Google フォームによる確認テストや課題の提示。</li> <li>② ルーブリック評価表の作成（看護教育学）、改定（成人看護学方法論Ⅲ）。</li> <li>③ 看護教育学において、Project Based Learning を用いたグループワークとプレゼンテーション（発表会）を実施。</li> <li>④ 成人看護学方法論Ⅱにおいて、事前学習課題の提示。</li> <li>⑤ 成人看護学方法論Ⅲでは、ゴードンを用いた看護過程の展開事例を修正した。より有機的な学びになるようにアセスメント発表会と看護計画発表会を企画し、運営した。</li> <li>⑥ 救急・災害看護学演習では、実際の救命場面を想定した反転授業を展開した。</li> <li>⑦ 成人看護学実習・急性期の自己練習（学内演習）において、VRシミュレーションを実施。臨地実習に活用できるアセスメントシートを作成した。</li> <li>⑧ 統合実習において、学内教員への On-the-Job Training を実施した。</li> <li>⑨ 看護師国家試験対策において、必修対策強化のための問題集と学習支援について検討し、導入を提案した。また、統計ソフトを使って令和5年度の模擬試験の傾向を分析し学習支援に活用した。</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成人看護学実習の実習前準備教育に関する研究</li> <li>② 慢性腎臓病患者の治療選択と意思決定支援に関する研究</li> </ul>
原著論文	なし

総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本腎不全看護学会会員 ② 日本慢性看護学会会員 ③ 日本看護協会会員 ④ 日本看護学教育学会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 国家試験対策委員会 委員 ② 看護協会連絡窓口 ③ 看護学部3年生 クラスアドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 上村いずみ
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<p>【看護学部】</p> <p>① 母性看護学方法論Ⅰ（1単位 4コマ）</p> <p>② 母性看護学方法論Ⅱ（1単位）</p> <p>③ 母性看護学実習（2単位）</p> <p>④ 研究ゼミナール（2単位）</p> <p>⑤ 国際看護論（1単位）</p> <p>【こども教育学部】</p> <p>⑥ 母子保健演習（2単位 オムニバス4コマ）</p>
教育上の能力に関する事項	<p>① 母性看護学方法論Ⅱにおいて、学生のアセスメント力向上のための技術演習とアセスメント演習の融合教育</p> <p>② 母性看護学方法論Ⅱにおいて、分娩監視シミュレーターの活用</p> <p>③ 母子保健演習において、学生の学習意欲を高めるための映像教材の導入</p> <p>④ 国際看護論の授業において、地域のNPO 法人と連携し、地域在住の外国人との交流を目的とした授業を企画・実施</p>
研究実績	
研究課題	<p>① フィリピンの農村部における出産の安全性と満足度の両立支援</p> <p>② タンザニアにおける置き薬システムの運用効果の評価</p>
原著論文	<p>フィリピンの医療施設で出産した女性の出産満足度に影響を及ぼす社会環境要因の検討－出産の安全性と満足度の高い出産体験の両立に向けて－</p> <p>上村いずみ, 横浜創英大学研究論集, 11 巻, p1-12,2024</p>
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	<p>① 学生の理解を促進する看護過程の教授法とは - 領域横断による教育設計の検討 - 日本看護学教育学会「第 34 回学術集会」, 交流セッション（共同）, 2024 年 8 月 19 日（月）～20 日（火）</p> <p>② The potential of the “OKIGUSURI” project to improve access to medicines in rural Tanzania, 第 39 回日本国際保健医療学会学術大会 グローバルヘルス合同大会 2024, ポスタ</p>

	一発表(共同), 2024年11月16日(土)~17日(日)
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本助産学会 ② 日本国際保健医療学会 ③ NPO 法人 AfriMedico 正会員 (研究チームプロボノ)
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	東京都立大田桜台高校ガイダンス (1年生対象) の系統別進路説明会にて講義
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 実習委員会委員 ② 学生募集委員会委員 ③ OSCEプロジェクトチームメンバー ④ 4年生アドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 大久保昭宏
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 看護援助技術論Ⅰ（1単位） ② 基礎看護学実習Ⅰ（1単位） ③ 看護過程展開論Ⅰ（1単位） ④ 看護援助技術論Ⅱ（1単位） ⑤ 看護過程展開論Ⅱ（1単位） ⑥ 基礎看護学実習Ⅱ（2単位） ⑦ 研究ゼミナール（2単位）
教育上の能力に関する事項	なし
研究実績	
研究課題	① 認知症看護に関する研究 ② ケアリングに関する研究
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 認知症ケア学会会員 ② 神奈川県認知症看護認定看護師会 役員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	① 神奈川県認知症看護認定看護師会研修会 運営・ファシリテーター
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 実習委員会 ② 情報センター委員会 ③ 4年生アドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 奥山 聡子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 精神看護学方法論Ⅰ（1コマ） ② 精神看護学方法論Ⅱ（1単位） ③ 精神看護学実習（2単位） ④ 統合実習（1クール） ⑤ 看護情報学（オムニバス4コマ） ⑥ 研究ゼミナール（2単位）
教育上の能力に関 する事項	① 精神看護の臨床現場で習得した経験（専門看護師2024まで） ② 診療情報管理士 ③ ③精神看護学方法論Ⅱ事例作成
研究実績	
研究課題	① 統合失調症をケアする精神科看護師の困難感尺度の開発 ② Development of a difficulty scale for psychiatric nurses caring for schizophrenia: A Qualitative Systematic Review ③ 睡眠障害を有する統合失調症患者へのケア
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑 誌の記事など）	① JBI Comprehensive Systematic Review Training Program 修了 ② JBIES へのタイトル登録完了
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会にお ける活動	① 日本看護協会（No. 06613665）正会員 ② 日本精神科看護協会（No. 067487）正会員 ③ 日本アクション看護学会（No. 385）正会員 ④ 日本精神保健看護学会（No. 5919831968）正会員 ⑤ 日本看護科学学会（No. 12333）正会員 ⑥ 日本高齢者虐待防止学会（No. 719）正会員 ⑦ 日本看護研究学会（no. 13263）正会員 ⑧ 日本いのちの教育学会 正会員 ⑨ 日本家族看護学会（no. 5633）正会員 ⑩ 日本健康医学会（no. 3205）正会員

	⑪ スーパーバイザリー精神科事例検討会
公開講座などでの 学外での講演、講 義、実習など	① ボランティア活動 NPO法人あいけあ様へ IAVCからの寄付金贈呈・ジャズコンサートボランティア ② 日本いのちの教育学会 事務局員
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活 動	① 2年生アドバイザー ② 看護学部実習委員会 ③ ハラスメント相談員 ④ サークル顧問 IAVC (international activity volunteer circle)
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 中田千恵子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 成人看護学概論（1単位 講義1コマ） ② 成人看護学方法論Ⅰ（2単位 講義1コマ 演習2コマ） ③ 成人看護学方法論Ⅱ（2単位 演習2コマ） ④ 成人看護学方法論Ⅲ（1単位） ⑤ 救急・災害看護学（1単位 演習2コマ） ⑥ 研究ゼミナール（2単位） ⑦ 成人看護学実習・急性期3単位 ⑧ 成人看護学実習・慢性期3単位
教育上の能力に関する事項	① 成人看護学に関する講義・演習指導の工夫 ② 成人看護学・実習前準備教育に関する指導の工夫 ③ 研究ゼミナールにおける論文作成指導
研究実績	
研究課題	① 看護基礎教育 ② 成人看護学急性期実習前準備教育に関する研究
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本看護科学学会会員 ② 日本看護学教育学会会員 ③ 臨床実践の現象学会会員 ④ 日本質的心理学会会員 ⑤ 日本保健医療社会学会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	看護分野 出前授業 神奈川県立横浜清陵高等学校
管理運営活動の実績	

学内委員会等の活動	① 実習委員会 ② 図書委員会 ③ 2年生クラスアドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 那須実千代
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成人看護学方法論Ⅰ 2単位（1コマ+演習2コマ）</li> <li>② 成人看護学方法論Ⅱ 2単位（1コマ+演習2コマ）</li> <li>③ 成人看護学方法論Ⅲ 2単位（演習+ミニ講義）</li> <li>④ 成人看護学実習急性期 3単位</li> <li>⑤ 成人看護学実習慢性期 3単位</li> <li>⑥ 統合実習 2単位（1クール）</li> <li>⑦ 救急・災害看護学 1単位（演習）</li> <li>⑧ 研究ゼミナール 2単位</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 救急・災害看護学 演習 院内での救急の作成</li> <li>② 成人看護学実習急性期・慢性期における臨地指導者との関係性構築と学生の能力に応じた指導の工夫</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 神経難病患者の看護ケア</li> <li>② 音楽療法を応用した看護ケア</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本看護科学学会会員</li> <li>② 日本看護研究学会会員</li> <li>③ 日本看護学教育学会会員</li> <li>④ 日本看護技術学会会員</li> <li>⑤ 日本難病看護学会会員</li> <li>⑥ 日本音楽療法学会会員</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	神奈川県座間総合高等学校 系統分野別分科会 1部・2部 看護学・保健学（大学）での講義
管理運営活動の実績	

学内委員会等の活動	① 国家試験対策委員会 委員 ② OSCE プロジェクト メンバー ③ 1年生クラスアドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	看護学部
職名、氏名	助教 村上亜紀
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域・在宅看護論(2単位 オムニバス (演習) 2コマ)</li> <li>② 地域・在宅看護方法論Ⅰ(2単位 オムニバス7コマ、演習5コマ)</li> <li>③ 地域・在宅看護方法論Ⅱ(2単位 オムニバス15コマ)</li> <li>④ 地域・在宅看護実習(2単位)</li> <li>⑤ 地域包括ケア実習(1単位)</li> <li>⑥ 老年看護実習Ⅱ(2単位)</li> <li>⑦ 基礎看護学実習Ⅱ(2単位)</li> <li>⑧ 研究ゼミナール(2単位)</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域・在宅看護論に関する講義や演習の指導方法の工夫</li> <li>② 地域・在宅看護実習に関する指導方法の工夫</li> <li>③ 研究ゼミナールにおける論文作成指導</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護教育・キャリアデザイン</li> <li>② 病院前救護</li> <li>③ 老年看護</li> <li>④ 在宅看護</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本看護科学学会員</li> <li>② 日本在宅看護学会員</li> <li>③ 日本歴史看護学会員</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	

学内委員会等の活動	① 看護師国家試験対策委員会 委員 ② 学生委員会 委員 ③ 3学年アドバイザー
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	教務部長 教授 小川史
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 教育原理（2単位） ② 保育原理Ⅰ（2単位） ③ 教育課程の意義と編成（2単位） ④ 道德教育の理論と方法（2単位） ⑤ 教育・保育史（2単位） ⑥ 基礎ゼミナール（2単位） ⑦ 卒業研究ゼミナール（2単位） ⑧ 卒業研究（2単位） ⑨ 教育原理（養護教諭）（2単位）
教育上の能力に関する事項	① 「道德教育の理論と方法」における視聴覚教材の導入・活用 _ ② 「卒業研究ゼミナール」における制作プロセスの意識化 _ ③ 「保育原理Ⅰ」における手の活動の意識化
研究実績	
研究課題	① 敗戦直後の演劇活動 その実態と教育的性格の解明 ② 九州地区占領期検閲台本の実証的研究 ③ 現代日本における地域市民演劇の研究
原著論文	「憲法普及劇とその構成 -小山祐士「田園の月」を中心に-」『演劇研究』第48号、2025年3月
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	「GHQ 占領期における地域演劇の実証的研究：九州地区を中心に」 日本演劇学会、2024年12月1日 科研費基盤B「現代日本における地域市民演劇の諸相」報告会、 2024年9月23日
外部資金取得状況	科研費基盤C「敗戦直後の演劇活動 —その実態と教育的性格の解明—」（研究代表） 科研費基盤B「現代日本における地域市民演劇の諸相」（研究分担） 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「GHQ 占領期における地域演劇の実証的研究：九州地区を中心に」（研究代表）
社会活動の実績	

学会及び社会における活動	① 日本教育学会会員 ② 日本社会教育学会会員 ③ 日本演劇学会会員 ④ 社会文学会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 教務委員会教務部長 ② こども教育学部教務分科会 委員 ③ 学生募集委員会 委員 ④ FD委員会 委員 ⑤ 防災対策委員会 委員 ⑥ 自己点検・評価委員会 委員 ⑦ 運営会議 委員 ⑧ ダンス・サークル顧問 ⑨ 演劇サークル顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	学生部長 教授 鈴木明子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学で学ぶとは（含建学の精神）1単位・オムニバス（1コマ）</li> <li>② 基礎ゼミナール（2単位）</li> <li>③ 保育内容の指導法（表現）Ⅰ（2単位）</li> <li>④ 保育内容の指導法（表現）Ⅱ（2単位）</li> <li>⑤ 表現（1単位）</li> <li>⑥ 音楽基礎（2単位）</li> <li>⑦ 音楽Ⅰ（2単位）</li> <li>⑧ 音楽Ⅱ（2単位）</li> <li>⑨ 器楽Ⅰ（1単位）</li> <li>⑩ 器楽Ⅱ（1単位）</li> <li>⑪ 卒業研究（4単位）</li> <li>⑫ 卒業研究ゼミナール（2単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 科目「音楽基礎」における「手遊び歌」を導入とした教材作り</li> <li>② ゼミナールや課外活動で行う地域貢献活動の実践</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ピアノ学習初心者の学習に関する理解、上達を促す教材研究</li> <li>② 子どもの声の高さに合わせた弾き歌い伴奏方法</li> <li>③ 学生同士で地域課題を見つけ協力し合い実践するゼミナール活動</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<p>【学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本音楽教育学会</li> <li>② 日本保育学会</li> <li>③ 日本教材学会（理事）</li> <li>④ 日本家政学会</li> </ul>

	⑤ 音楽教育史学会 ⑥ 幼児音楽研究会（理事） <b>【社会活動】</b> ① 2024年12月15日実施。十日市場駅周辺の清掃活動サンタプロジェクト「清掃活動でゴミ問題学ぶ～緑区役所と区内5大学との連携・協力事業」 ② 2024年11月10日学園祭で実施。食品の寄付募る～フードドライブを緑区と協力して両学部合同チームコスモスで実施。
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	①学生委員会 委員長 ②ハラスメント防止委員会 副委員長 ③学生募集委員会 委員 ④自己点検・評価委員会 委員 ⑤防災対策委員会 委員 ⑥運営会議 委員 ⑦4年生担任 ⑧軽音楽サークル顧問 ⑨学友会顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	教授 武井博美
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「英語 A」（こども教育学部）（2 単位×2 クラス）</li> <li>② 「英語 B」（こども教育学部）（2 単位×2 クラス）</li> <li>③ 「英語 B」（看護学部）（2 単位×1 クラス）</li> <li>④ 「英語 C」（2 単位）</li> <li>⑤ 「文学」（2 単位）</li> <li>⑥ 「基礎ゼミナール」（2 単位）</li> <li>⑦ 「卒業研究ゼミナール」（2 単位）</li> <li>⑧ 「卒業研究」（4 単位）</li> <li>⑨ リメディアル教育</li> <li>⑩ 入学前教育</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① e-learning の導入</li> <li>② アクティブ・ラーニングの実践</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 18～20 世紀 イギリス小説研究（主にゴシックロマンスとその系譜について）</li> <li>② 18～20 世紀 イギリス文化研究（主にゴシック文化について）</li> <li>③ 19～20 世紀 イギリス児童文学</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「ロアルド・ダール「あるアフリカの物語」におけるキリンと蛇の効果について」 物語研究会 2024 秋季大会（2024 年 9 月 14 日）</li> <li>② 「蝶と蛇 ～道尾秀介作品からの考察～」 物語研究会 2024 春季大会（2025 年 3 月 3 日）</li> </ul>
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本英文学会 会員</li> <li>② 日本アメリカ文学会 会員</li> <li>③ 日本オーステイン協会 会員</li> <li>④ 日本ジョージ・エリオット協会 会員</li> </ul>

	⑤ The George Eliot Fellowship 会員 ⑥ テクスト研究学会 会員 ⑦ 日本リメディアル教育学会 会員
公開講座などでの 学外での講演、講 義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活 動	① 研究倫理審査会 委員長 ② 教養教育教務分科会 委員長 ③ 学生募集委員会 委員 ④ 教務委員会 委員
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	准教授 糊澤令子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの心理療法（2単位）</li> <li>② 心理学（2単位）</li> <li>③ 発達心理学（2単位）</li> <li>④ 臨床心理（2単位）</li> <li>⑤ 保育の心理学（2単位）</li> <li>⑥ 幼児理解の理論及び方法（教育相談の理論及び方法を含む。） （2単位×2）</li> <li>⑦ 道徳性の発達（2単位）</li> <li>⑧ 基礎ゼミナール（2単位）</li> <li>⑨ 卒業ゼミナール（2単位）</li> <li>⑩ 卒業研究（4単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全科目、教材再作成と工夫</li> <li>② 社会性教育（道徳性、情動、セカンドステップ等）の導入</li> <li>③ 近隣幼稚園との交流会実施</li> <li>④ 卒論指導・ゼミ（心理学方法論等を含んだ卒論指導）</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの養護性の発達</li> <li>・子どもの情動発達</li> </ul>
原著論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児理解の理論と方法」の実践報告：2024年度の取り組み p 19-25, 保育者養成実践論集（8号）</li> <li>・「乳児院における保育者の役割を知る：研修と見学による学び」 p 1-7, 考えて行動できる人を育成する教授方法集録集 vol5.No1</li> </ul>
総説・解説	なし
著書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務教育出版、「心理学検定 基本キーワード」日本心理学諸学会 連合心理学検定局、改訂版（6月発行）、p 90-99</li> <li>・ミネルヴァ書房、「心理職の人って何をするの?」、改訂版 （2025年4月発行）p 44</li> </ul>
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児期の赤ちゃん人形への養護行動：「だっこ」に焦点をあてて」、ポスター発表、日本発達心理学会第36回大会、明星大学</li> <li>・「幼児における「養育者の養護行動」及び「自己の養護行動」の認識」ポスター発表、日本教育心理学会第66回総会、浜松アク</li> </ul>

	トシティ
外部資金取得状況	科学研究費基盤C:『幼児における養護性の機序と発達プロセスの検討』
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本発達心理学会 会員 ② 日本教育心理学会 会員 ③ 日本心理臨床学会 会員 ④ 日本家族心理学会 会員 ⑤ 日本SEL研究会 会員 ⑥ 国際幼児教育学会 会員 日本臨床心理士会会員、神奈川臨床心理士・支部会員、公認心理師協会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 学生募集委員会委員 ② ハラスメント防止委員会 ③ 保健管理センター委員会委員 ④ 子育て研究所 所員 ⑤ バドミントンサークル顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	准教授 田中君枝
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 人間関係（1単位）</li> <li>② 保育内容の指導法（人間関係・言葉）Ⅰ（2単位）</li> <li>③ 保育内容の指導法（人間関係・言葉）Ⅱ（2単位）</li> <li>④ 乳児保育Ⅰ（2単位）</li> <li>⑤ 乳児保育Ⅱ（2単位）</li> <li>⑥ 保育実習事前事後指導ⅠA（保育所）（1単位）</li> <li>⑦ 保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所）（1単位）</li> <li>⑧ 保育実習ⅠA（保育所）（2単位）</li> <li>⑨ 保育実習Ⅱ（保育所）（2単位）</li> <li>⑩ 保育原理Ⅱ（現状と課題）（2単位）</li> <li>⑪ 教材研究A（造形）（2単位）</li> <li>⑫ 教材研究D（児童文化）（2単位）</li> <li>⑬ 基礎ゼミナール（2単位）</li> <li>⑭ 卒業研究（4単位）</li> <li>⑮ 卒業研究ゼミナール（2単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「保育内容の指導法（人間関係・言葉）Ⅱ」科目におけるIT教材取り組みの工夫</li> <li>② 横浜市内保育園との連携活動（園児との交流）</li> <li>③ 日本保育協会神奈川支部主催「ふれあい体験」参加による保育園との連携活動</li> <li>④ 横浜市緑区読書活動推進事業での官学連携活動</li> <li>⑤ 「乳児保育Ⅱ」科目における手作り玩具を駅前の親子カフェにて展示、活用（産学連携活動）</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育者養成</li> <li>② 児童文化・児童文化財</li> <li>③ 保育実践研究</li> </ul>
原著論文	「絵本読み聞かせの選書に関する保育者の意識について」（共著） 『保育者養成実践論集 No8』横浜創英大学 2025. 3
総説・解説	なし
著書	保育内容「人間関係」「共に育つ・創る」をめざして（共著） ミネルヴァ書房
その他（新聞、雑誌の記事など）	横浜市緑区図書館親子向け読み聞かせイベント「えほんふれあおう 横浜創英大学×緑図書館」

	タウンニュース緑区版掲載 (2024年12月5日号)
学会発表 (含国際会議)	① 「絵本読み聞かせの選書に関する保育者の意識についての研究」日本保育学会 第77回研究大会 オンライン発表 (2024年5月11、12日) ② 「乳幼児の歌と領域「言葉」との関連-保育者養成校の学生の意識を通して」-日本保育者養成教育学会 第9回研究大会発表 (2025年3月1日)
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	【学会】 ① 日本保育学会会員 ② 日本保育者養成教育学会会員 【社会における活動】 ① 「横浜市緑区地域子育て支援拠点いっぽ」にて絵本読み聞かせの会を開催 (2024年6月27日) ② 新治西部連合自治会「みんなでわくわく街歩きイベント」協力 (2024年11月9日) ③ 横浜市緑図書館にて親子向け読み聞かせイベント「えほんとふれあおう 横浜創英大学×緑図書館」開催 (2024年11月30日) ④ 親子向け読み聞かせイベント「えほんとふれあおう 横浜創英大学×緑図書館」展示 (2025年3月17日～21日) 緑区役所にて
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	東京都中央区ファミリーサポートセンター提供会員講習会 講座講師 (2024年5月、10月)
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 実習委員会副委員長 ② 教務分科会副委員長 ③ 保健管理センター委員会委員 ④ こどもクラブ顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	准教授 根本 徹
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	① 教職論(保育者論を含む) 2単位 ② 保育内容総論 2単位 ③ 領域「環境」 1単位 ④ 保育内容指導法「健康・環境」Ⅰ 2単位(オムニバス8コマ) ⑤ 保育内容指導法「健康・環境」Ⅱ 2単位(オムニバス8コマ) ⑥ 幼児教育実地研究 2単位 ⑦ 基礎ゼミ 2単位 ⑧ 卒業研究、及び卒業研究ゼミナール4単位、2単位
教育上の能力に関する事項	学内特別研究費受給認証 幼児教育実地研究での主活動についてのルーブリック活用の工夫 領域「環境」での季節に応じた体験的活動の工夫
研究実績	
研究課題	こどもの社会認識・環境認識の発達
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他(新聞、雑誌の記事など)	横浜創英大学研究論集 12集 こどもの自然体験に関する実態調査 一日常生活における新治市民森での自然体験の現状と課題—(レポジトリ)
学会発表 (含国際会議)	地域におけるこどもの自然環境体験の現状と課題 —横浜市 新治市民の森を事例として—こどもの環境体験に関する 日本社会科教育学会第35回研究発表大会(琉球大学)2024.12.1
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	日本教材学会会員 日本環境教育学会会員 日本社会科教育学会会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	① 横浜市 よこはま森の楽校 公開講座(9月及び10月)主催 ② 神奈川県立永谷高等学校 家庭科(保育領域)出前授業 ③ 若葉台団地との協働企画(団地内お散歩マップ作成の試み)
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① 学生委員会委員 ② 情報委員会委員 ③ FD委員会委員

	④ バレーボールサークル 顧問 ⑤ 幼児教育実地研究 見学園 8園との見学受入交渉 ⑥ 幼稚園教育実習Ⅱ・Ⅰ, 保育実習Ⅱ・Ⅰ 電話交渉約 80 件 約 240 園のデータ入力
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	准教授 平野友康
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	① 基礎ゼミナール(2単位) ② 障がい児保育(2単位) ③ 社会的養護Ⅰ(2単位) ④ 子ども家庭福祉(2単位) ⑤ 保育実習事前事後指導ⅠB(施設)(2単位) ⑥ 保育実習ⅠB(施設)(2単位) ⑦ 卒業研究ゼミナール(2単位) ⑧ 保育実習事前事後指導Ⅲ(施設)(2単位) ⑨ 保育実習Ⅲ(施設)(2単位)
教育上の能力に関する事項	なし
研究実績	
研究課題	地域福祉における主体論の研究(生活上の困難を地域の中で解決するあり方についての研究)
原著論文	「社会福祉における住民の主体性に関する論点の整理－1960年代から1970年代を中心とした文献研究からの考察－」『福祉と市民活動 No2』特定非営利活動法人 福祉と市民活動研究所 2025.3
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	「保育実習ⅠB(施設)事後指導での教授法－実習報告書の作成を通じた自己の学びの明確化－」『保育者養成実践論集 No8』横浜創英大学 2025.3
学会発表 (含国際会議)	なし
外部資金取得状況	・町田市・法政大学共同研究名和田是彦, 三輪律江, 藤井多希子, 石井大一郎, 杉崎和久, 伊藤雅春, 淵元初姫, 西谷内博美, 深谷裕之 「町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究」
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	・特定非営利活動法人 福祉と市民活動研究所 事務局(2016/10～) ・日本いのちの教育学会 事務局(2023/4～) ・横浜市旭区社会福祉協議会 ボランティアセンター運営委員会 委員長(2019/7～) ・藤沢市社会福祉協議会 藤沢市支えあう地域づくり推進連絡会 議長(2022/8～)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央共同募金会 コープみらい×中央共同募金会 子ども・子育て支援助成 審査委員(2023/9～2024/10)</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<p>1、講演</p> <p>① 藤沢市 2024/6/27 藤沢市民生委員児童委員対象：「孤独・孤立対策推進法について」</p> <p>② 藤沢市社協 2024/7/1 藤沢市社協会員対象：「孤独・孤立対策推進法等の制度について」</p> <p>③ 中野区社協 2024/9/11 中野区社協職員対象：「新人職員として必要な地域との向き合い方」</p> <p>④ 神奈川県社協 2024/10/2 県内社会福祉施設職員対象：「かながわライフサポート事業コミュニティソーシャルワーカー養成研修」</p> <p>⑤ 藤沢市社協 2024/10/25 藤沢市社協役員対象：「社協基本要項2025の概要について」</p> <p>⑥ 茅ヶ崎市浜須賀地区地域包括支援センターあさひ 2024/11/1 茅ヶ崎市内地域関係者対象：「防災への取り組みについて地域・介護事業所皆で考えよう！パート3」</p> <p>⑦ 湯河原町社協 2025/2/27 湯河原町地域福祉活動計画推進委員対象：「孤独・孤立対策推進法から学ぶ」</p> <p>⑧ 藤沢市社協 2025/2/26 藤沢市社協 地区社協分科会会員対象：「子育て支援について地域に求められること」</p> <p>2、勉強会の主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活福祉資金自主学習会 2024/4～2025/3 県内社協職員対象：生活福祉資金貸付事業の自主学習会を主催(計6回開催)</li> </ul> <p>3、地域貢献活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若葉台地区での3年ゼミ生の活動(計2回) (7/23(火)子育てサロン・6/5(水)プレーパーク)</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<p>① 実習委員会 委員長</p> <p>② 情報センター委員会 委員長</p>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	准教授 持田訓子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 特別支援教育概論（2単位）</li> <li>② 器楽Ⅲ（中級）（2単位）</li> <li>③ 器楽Ⅳ（上級）（2単位）</li> <li>④ 教養音楽（2単位）</li> <li>⑤ 保育実習事前事後指導ⅠA（保育所）（1単位）</li> <li>⑥ 保育実習ⅠA（保育所）（1単位）</li> <li>⑦ 保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所）（1単位）</li> <li>⑧ 保育実習Ⅱ（保育所）（1単位）</li> <li>⑨ 基礎ゼミナール（2単位）</li> <li>⑩ 卒業研究（4単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 器楽Ⅲ（中級）における合奏教材の作成</li> <li>② 各科目におけるアクティブラーニングの工夫</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① グループアプローチを活用した「いのちの教育」</li> <li>② その人らしさを支える音楽療法の可能性</li> <li>③ 小児慢性特定疾病をもつ子どもの就園に関する親の経験</li> </ul>
原著論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「グループアプローチにおける発達環境の共同創造—高校生グループ相談の観察から」学校心理学研究第24巻第1号 共著筆頭</li> <li>② 「Effectiveness of mental health education for high school teachers in Japan: A prospective cohort study」Quality in Primary Care Volume 32 共著</li> </ul>
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	① 特集「教育相談活動の年間計画を立てる：重層的な支援の視点や『対話』を降り入れた計画を」月刊学校教育相談4月号
学会発表 （含国際会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「高等学校における哲学対話を応用した『いのちの教育』の有用性の検討—試行参加者へのアンケート調査から—」日本学校心理学会第26回大会 ポスター発表（単著）</li> <li>② 「『こころとからだ』まるごとの健康づくりを目指して—ワークショップ『からだ気づき』の実践から—」日本いのちの教育学会第26回研究大会 ポスター発表（共著）</li> </ul>
外部資金取得状況	・科研費基盤研究(C)「外国につながるのある高校生への養護教諭による健康支援」（研究分担者）

社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本学校心理学会 理事・研修副委員長</li> <li>② 日本いのちの教育学会 理事・事務局長</li> <li>③ 日本学校心理士会 会員</li> <li>④ 日本公認心理師協会 会員</li> <li>⑤ 日本児童青年精神医学会 会員</li> <li>⑥ 日本重症心身障害学会 会員</li> <li>⑦ 日本LD学会 会員</li> <li>⑧ 日本K-A-B-Cアセスメント学会 会員</li> <li>⑨ 日本音楽療法学会 会員</li> <li>⑩ 横浜市立大学（医学研究科） 共同研究員</li> <li>⑪ NPO法人あいけあ多機能事業所 i. care 音楽療法 講師</li> <li>⑫ 神奈川県立横浜南支援学校 学校運営協議会部会 委員</li> <li>⑬ 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 委員</li> <li>⑭ 神奈川県立霧が丘高等学校 学校運営協議会 委員</li> <li>⑮ 横浜若葉台団地連携事業（こども園出前講座・秋まつり出店等）</li> <li>⑯ 子育て研究所 発達相談・子育て相談の実施等</li> </ul>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 県西教育事務所主催 小・中学校校長等研修講座 講師</li> <li>② NPO法人ピッピ・親子サポートネット 職員研修 講師</li> </ul>
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ハラスメント防止委員会 委員長</li> <li>② 研究倫理委員会 副委員長</li> <li>③ 研究倫理審査会 委員</li> <li>④ 利益相反管理委員会 委員</li> <li>⑤ こども教育学部実習委員会 委員</li> <li>⑥ 学生サポートセンター 相談員</li> <li>⑦ 子育て研究所 相談員</li> <li>⑧ 横浜若葉台団地連携事業 窓口</li> <li>⑨ こども教育学部第3学年 担任</li> <li>⑩ プラスサークル 顧問</li> </ul>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	講師 江島絵理子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎ゼミナール（2単位）</li> <li>② 教育実習Ⅰ事前事後指導（1単位）</li> <li>③ 教育実習Ⅱ事前事後指導（1単位）</li> <li>④ 教育実習Ⅰ（2単位）</li> <li>⑤ 教育実習Ⅱ（2単位）</li> <li>⑥ 子育て支援論A（幼稚園）</li> <li>⑦ 教育の技術と方法（2単位）</li> <li>⑧ 教職・保育実践演習（2単位）</li> <li>⑨ 教材研究A(認定絵本土養成講座)講師(2単位)</li> <li>⑩ 教材研究D（2単位）</li> <li>⑪ 教材研究E（2単位）</li> <li>⑫ 卒業研究ゼミナール（2単位）</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学生に対する意識調査及び理解度調査を授業に導入</li> <li>② 独自作成によるプリントを授業に導入</li> <li>③ 学生参加型授業の導入</li> <li>④ 保育現場、保育実践に関する授業内容の導入</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実習指導</li> <li>② 教材研究</li> <li>③ 保育実技実践</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	『幼児教育・保育方法論』教育情報出版 共著
その他（新聞、雑誌の記事など）	横浜創英大学 保育者養成実践論集 第8号(幼稚園教育実習Ⅱ)
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本保育学会会員</li> <li>② 日本乳幼児教育学会会員</li> </ul>

公開講座などでの 学外での講演、講 義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活 動	① 実習委員会 ② 教務分科会 ③ 学生募集委員会
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	講師 流石良子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 造形表現(2単位)</li> <li>② 保育内容の指導法(表現)Ⅰ(2単位)</li> <li>③ 保育内容の指導法(表現)Ⅱ(2単位)</li> <li>④ 表現(1単位)</li> <li>⑤ 図画工作Ⅰ(2単位)</li> <li>⑥ 図画工作Ⅱ(2単位)</li> <li>⑦ 保育実習事前事後指導ⅠB(施設)(1単位)</li> <li>⑧ 保育実習1B(施設)(2単位)</li> <li>⑨ 保育実習事前事後指導Ⅲ(施設)(1単位)</li> <li>⑩ 保育実習Ⅲ(施設)(2単位)</li> <li>⑪ 基礎ゼミナール(2単位)</li> <li>⑫ 卒業ゼミナール(2単位)</li> <li>⑬ 卒業研究(4単位)</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学敷地内や身近と感ずる場所の自然材を活用した造形遊びや教材研究。</li> <li>② 心を開放し互いの違いを自分の豊かさに変えていけるコミュニケーションゲームの工夫。</li> <li>③ 造形表現活動が人格形成に寄与することを体感できる取組の工夫</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 五感で楽しむ造形教育</li> <li>② 自然材の教材化 自然との関わりの中で、五感を働かせながら自然素材の教材化を探る。</li> <li>③ 創造的な人間形成と遊び 造形遊びや表現活動を通して他者理解と人格形成により影響がうまれていくことを日常の授業の中で体感できるよう工夫する。</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「造形活動を通して子どもの何を育てることができるか」 横浜創英大学保育者養成実践論集第6号</li> <li>② 「造形活動を通して子どもの何を育てることができるかを考える」</li> </ul>

	<p>横浜創英大学保育者養成実践論集第8号</p> <p>③ 「授業後の振り返りを大切にした取組と検討」 横浜創英大学“考えて行動できる人を育成する”教授方法集録集 Vol.5</p> <p>④ 「図画工作 I と他教科との連携により得られた学び」 横浜創英大学“考えて行動できる人を育成する”教授方法集録集 Vol.7</p>
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	<p>① 公益社団法人日本美術教育連合会会員</p> <p>② 全国大学造形美術教育教員養成協議会会員</p> <p>③ 一般社団法人日本保育学会会員</p>
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	<p>① こども教育学部実習委員会委員</p> <p>② 学生委員会</p> <p>③ 学生サポートセンター相談員</p> <p>④ こども教育学部第4学年担任</p>
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	講師 若生啓
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① コンピュータ A（2 単位） ② コンピュータ B（2 単位） ③ データサイエンス入門（2 単位） ④ 情報リテラシー（2 単位） ⑤ 卒業研究ゼミナール（2 単位） ⑥ 卒業研究（4 単位）
教育上の能力に関 する事項	① 「コンピュータ A」におけるタッチタイピング習得のための教授方法の工夫 ② 「データサイエンス入門」におけるプログラミング課題の教授方法や評価方法の工夫 ③ 「情報リテラシー」における演習課題の作成・提出や進捗状況の確認などについての ICT の活用
研究実績	
研究課題	① 炭素材料の構造欠陥についてのコンピュータシミュレーション ② カーボンナノチューブについてのコンピュータシミュレーション ③ 放射光トポグラフを用いたタンパク質結晶の物性評価
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本物理学会 会員 ② フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会 会員 ③ 日本結晶成長学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	

学内委員会等の活動	① 学生募集委員会 委員 ② 4年生担任
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	助教 相賀頌子
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 障がい論（2 単位）</li> <li>② 子どもの障がい論（2 単位）</li> <li>③ 統合保育論（2 単位）</li> <li>④ 教職・保育実践演習（2 単位）</li> <li>⑤ 基礎ゼミナール</li> <li>⑥ 卒業研究ゼミナール</li> <li>⑦ 卒業研究</li> </ul>
教育上の能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日独におけるインクルーシブ保育の比較： 翻訳されていないドイツの原著論文・資料等で作成した教材と日本の資料を使用して、日独の実態を学生に比較させ、日本の課題について考えさせた。</li> <li>② シュタイナー幼稚園における障がい児保育の理念と実践： ドイツのシュタイナー幼稚園の教育要領、自己のドイツのシュタイナー幼稚園での実習・フィールドワーク調査を参考にして教材を作成し、実践の基盤にある子ども観、教育観について考えさせた。</li> <li>③ ホリスティック教育について紹介： 自己の研究テーマとする「ホリスティックな障がいのある子ども」といった新たな概念を紹介し、「障がい」とは何かを根本的に考えさせるアクティブラーニングを行った。</li> </ul>
研究実績	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ドイツのインクルーシブ保育</li> <li>② 就学前段階における特別なニーズのある子どもの言語促進</li> <li>③ シュタイナー幼稚園におけるホリスティックな障がいのある子どもの保育</li> </ul>
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他（新聞、雑誌の記事など）	なし
学会発表 （含国際会議）	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	

学会及び社会における活動	日本保育者養成教育学会 会員 日本乳幼児教育学会 会員
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	なし
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	実習委員会 委員 教務分科会 委員 フットサルサークル顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	助教 濱田 唯
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 子ども家庭支援論(2単位) ② 社会福祉(2単位) ③ 保育実習IB(施設)事前事後指導(1単位) ④ 保育実習IB(施設)(2単位) ⑤ 保育実習III事前事後指導(1単位) ⑥ 保育実習III(2単位) ⑦ 卒業研究ゼミナール(2単位) ⑧ 卒業研究(4単位) ⑨ 基礎ゼミナール(2単位)
教育上の能力に関する事項	① 全科目アクティブ・ラーニングの実践
研究実績	
研究課題	① 精神障害当事者の語りの分析 ② 精神保健福祉のピアアドボケート実践
原著論文	濱田唯, 蔭山正子, 横山恵子: 精神医療利用者を対象とした日本語版 PSAS (セルフアドボカシー尺度) の信頼性と妥当性の検討, 日本公衆衛生雑誌, J-STAGE 早期公開, 2024
総説・解説	なし
著書	なし
その他(新聞、雑誌の記事など)	なし
学会発表 (含国際会議)	① 日本社会福祉学会関東ブロック研究大会「困難な状況との「折り合い」に関する文献検討 -Younger(1991)のMastery理論に着目して-」(2025年3月16日) ② 日本精神保健福祉士学会学術集会「630 調査からみた精神科入院者の権利擁護—精神科ユーザー自身による病院選びを目指して-」(2024年9月28日)
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	① 日本社会福祉学会会員 ② 日本臨床心理学会会員 ③ 日本公衆衛生学会会員 ④ 日本精神保健福祉士協会会員

	⑤ 神奈川県精神医療人権センター事務局
公開講座などでの 学外での講演、講 義、実習など	① 株式会社 TMJ 主催 poshulou Lab. (ポシュロウラボ) 「合理的配 慮から考える、私たちが苦手なことについて」(2024年9月4 日)
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活 動	① 学生サポートセンター ② 図書委員会 ③ ハラスメント委員会
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

2024（令和6）年度の教員の教育・研究業績及び社会活動等の実績

所属学部	こども教育学部
職名、氏名	助教 椋田美穂
教育実績	
担当科目・単位数 オムニバスの場合 はコマ数	① 障がい児保育(2単位) ② こどもの理解と援助(2単位) ③ 子育て支援論 B(保育)(2単位) ④ 幼稚園実習Ⅰ(2単位) ⑤ 幼稚園実習事前事後指導Ⅰ(1単位) ⑥ 幼稚園実習Ⅱ(2単位) ⑦ 幼稚園実習事前事後指導Ⅰ(1単位) ⑧ 基礎ゼミナール(2単位) ⑨ 卒業研究ゼミナール(2単位) ⑩ 卒業研究(4単位)
教育上の能力に関する事項	① 担当科目における教材作成とアクティブラーニングの工夫 ② 幼稚園への観察見学導入 ③ 独自作成によるプリントを授業に導入
研究実績	
研究課題	なし
原著論文	なし
総説・解説	なし
著書	なし
その他(新聞、雑誌の記事など)	なし
学会発表 (含国際会議)	なし
外部資金取得状況	なし
社会活動の実績	
学会及び社会における活動	日本学校心理士会 会員 「横浜市緑区地域子育て支援拠点いっぽサテライト」にて手遊びや読み聞かせ活動実施
公開講座などでの学外での講演、講義、実習など	① 横浜市立森の台小学校「子どもの社会的スキル横浜プログラムの活用について」研修会 講師 ② まこと幼稚園「子どもの理解と援助」夏季研修会 講師
管理運営活動の実績	
学内委員会等の活動	① ハラスメント相談員 ② こども教育学部実習委員会 委員 ③ 子育て研究所相談員

	④ 学生サポートセンター相談員 ⑤ こども教育学部第2学年 担任 ⑥ 野球サークル 顧問
表彰・顕彰	
賞の名称	なし

## 2024年度 横浜創英大学 地域貢献活動

### ■横浜創英大学企画事業

	取組名	主催者(連携先)	実施年月日	実施場所
1	小学校就学に向けた準備講座(保護者対象)	横浜創英大学 子育て研究所	2024/9/4	横浜創英大学 3201教室
2	子育てなんでも相談会(学園祭にて実施)	横浜創英大学 子育て研究所	2024/11/10	横浜創英大学 行動観察室
3	看護の日(地域住民への健康チェックを提供)	横浜創英大学 看護学部	2024/11/10	横浜創英大学 3301、3307教室

### ■横浜市連携活動

1	横浜創英大学1年生による「クリーンウオーク」	緑区地域振興課	看護学部5/20(雨天中止) こども教育学部11/6	十日市場駅周辺、駅から本学までの通学路
2	熱中症予防広報活動	緑消防署 緑消防団 JR東日本 大塚製薬	2024/7/13	JR鴨居駅
3	霧ヶ丘商店会秋祭り 心肺蘇生ブースの運営	緑消防署 緑消防団 霧ヶ丘商店会	2024/9/14	霧ヶ丘商店会
4	よこはま森の楽校	みどり環境局環境活動事業課	2024/9/28 2024/10/26	横浜創英大学西側雑木林
5	横浜市総合防災訓練	緑消防署	2024/9/29	長坂谷公園
6	インド人コミュニティのお祭りで 心肺蘇生体験ブースを運営	緑消防署 インド人コミュニティ	2024/10/26	萱場公園
7	学園祭企画「フードドライブ」	緑区地域振興課	2024/11/10	横浜創英大学
8	緑郵便局防災訓練	緑郵便局 緑消防署	2024/11/11	緑郵便局
9	子ども(親子)向け読み聞かせの会「えほんとふれあおう」	緑図書館 緑区地域振興課	2024/11/30	横浜市緑図書館
10	みどりサンプラザプロジェクト2024	緑区地域振興課	2024/12/15	緑区市民活動支援センター「みどりーむ」
11	緑区消防出初式	緑消防署	2025/1/11	緑消防署十日市場訓練場
12	春の火災予防運動	緑消防署	2025/3/5	東急田園都市線長津田駅構内
13	「認知症啓発イベント」におけるハンドトリートメントのボランティア	健康福祉局高齢住宅支援課	2025/3/26	横浜市役所

### ■地域団体等連携活動

1	絵本の読み聞かせ・手あそびの実施	横浜市緑区地域子育て支援拠点いっぽ	2024/5/23	横浜市緑区地域子育て支援拠点いっぽ
2	【若葉台団地連携】 横浜旭中央総合病院看護フェスティバル	若葉台団地自治会 神奈川県住宅供給公社 横浜旭中央総合病院看護部	2024/5/25	若葉台団地
3	【若葉台団地連携】 若葉台地区プレイパークへの参加	若葉台プレイパーク活動運営委員会	2024/6/5	若葉台団地
4	家庭科授業(保育内容)についての体験的活動の出前授業	神奈川県立永谷高等学校	2024/6/18	神奈川県立永谷高等学校特別教室
5	【幼稚園保育園連携】 乳児院での研修・見学会	久良岐乳児院	2024/7/24	久良岐乳児院
6	【幼稚園保育園連携】 園内研修会(観察実習・保育者への研修)	まこと幼稚園	2024/7/26	まこと幼稚園
7	【幼稚園保育園連携】 園児と学生の交流	社会福祉法人白梅福祉会 白梅いずみ保育園	2024/8/1	社会福祉法人白梅福祉会 白梅いずみ保育園

8	自由遊びの見守り・手遊び等のボランティア活動	緑区地域子育て支援拠点「いっぽサテライト」	2024/8/5	緑区地域子育て支援拠点「いっぽサテライト」
9	キッズ献血	神奈川県赤十字血液センター	2024/8/18	トレッサ横浜
10	【若葉台団地連携】体験講座「つくってあそぼう」を開催	若葉台こども園 神奈川県住宅供給公社 一般財団法人若葉台まちづくりセンター	2024/8/19	若葉台こども園
11	アロママッサージのボランティア活動	グッドタイム リビング 長津田みなみ台	2024/9/5 2025/3/17	グッドタイム リビング 長津田みなみ台
12	【若葉台団地連携】アロマハンドマッサージ活動	神奈川県住宅供給公社 一般財団法人若葉台まちづくりセンター	2024/9/12 2025/3/25	横浜ヴィンテージ・ヴィラ
13	【若葉台団地連携】若葉台秋まつりで「スーパーボールすくい」の出店	神奈川県住宅供給公社 一般財団法人若葉台まちづくりセンター	2024/10/12	横浜若葉台団地ふれあい広場
14	横浜マラソン救護スタッフ	横浜マラソン組織委員会	2024/10/27	みなとみらい～南部市場
15	「みんなでわくわく街歩きイベント」にてスタンプラリーのサポート	新治西部連合会自治会	2024/11/9	新治西部地区公園
16	【幼稚園保育園連携】園児と学生の交流	上川井幼稚園	2024/11/29	本学アリーナ
17	湘南国際マラソン医療ボランティア	湘南国際マラソン事務局	2024/12/1	大磯ロングビーチ～江ノ島
18	出前授業「薬物乱用防止教室」の講師	都立大森高校	2024/12/27	都立大森高校

■教員による地域貢献活動

1	地域団体等での講師・コーディネーター等	延べ51件	2024/4/1～ 2025/3/31	
2	地域団体等における事業運営への協力・協働	延べ15件	2024/4/1～ 2025/3/31	
3	地方自治体等における委員活動等	延べ13件	2024/4/1～ 2025/3/31	

## 横浜創英大学教育研究センター規程

### (趣旨)

- 第1条 横浜創英大学（以下「本学」という。）に、学則第9条第1項に規定する教育研究組織として、その教育研究の充実発展を図る上で必要な調査研究及び業務を行うため、教育研究センター（以下「研究センター」という。）を置く。
- 2 この規程は、学則第9条第2項に基づき、研究センターの調査研究事項、業務、組織等について必要な事項を定めるものとする。

### (調査研究事項)

- 第2条 研究センターは、学長の諮問を受けて、次に掲げる調査研究を行う。
- (1) 本学の持続的な発展を図る観点から、その教育理念と特色のある大学づくりを実現するための方策の策定に関すること
  - (2) 本学の中・長期計画の策定に関すること
  - (3) 本学の教員の自己評価のモデルの策定に関すること
  - (4) その他研究センターの目的を達成するために必要な事項に関すること

### (業務)

- 第3条 研究センターは、学長の命を受けて本学の地域貢献の企画及び連絡調整に関する業務を行う。

### (組織)

- 第4条 研究センターに、所長、副所長、委員及び職員を置く。
- 2 所長は、学長をもって充てる。
  - 3 副所長は、理事長が指名する職員をもって充てる。
  - 4 委員は、課題に応じて、学長が指名する教職員若干名をもって充てる。
  - 5 前項の委員の任期は、学長が任命した日から課題の検討が終了した日までとする。

### (報告)

- 第5条 所長は、第2条各号に掲げる事項について結論がまとまったときは、学長に報告するものとする。

### (事務)

- 第6条 研究センターの事務は、総務企画部企画入試課がこれを行う。

### (規程の改廃)

- 第7条 この規程の改廃は、運営会議の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 この規程は、平成24年6月27日から施行する。
- 2 この規程の施行後、学長から最初に指名された委員の任期は、第3条第5項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則

- 1 第1条、第2条、第3条第4項及び第5項、第4条第1項及び第3項、第5条第2項、第6条、第7条、第8条並びに第9条の改正は、平成24年9月26日から施行する。
- 2 この改正規程の施行後、学長から最初又は中途に指名された委員の任期は、第3条第5項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則

- 1 この規程の改正は、平成27年5月27日から施行する。
- 2 横浜創英大学教育研究センター共同研究推進小委員会細則及び横浜創英大学教育研究センター地域貢献推進小委員会細則は、廃止する。
- 3 平成27年4月1日現在研究センター会議委員として任命されていた者の当該委員の任期は、平成27年5月26日までとする。

附 則

第1条の改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

第6条の改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

第6条の改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

第6条の改正は、令和3年4月1日から施行する。